



みずほ

第 2 号

平成15年11月1日

発行  
岐阜県瑞穂市議会

編集  
瑞穂市議会広報編集委員会

# 市議会だより



秋を彩る彼岸花と富有柿。遠くに見えるのは伊吹山。(十八条地内で撮影)

## 市議会だより第2号の主な内容

平成15年第2回瑞穂市議会定例会.....	P 2
市長提出の11議案と議員提出の1議案などを審議	
議員研修報告.....	P 2
滋賀県栗東市と兵庫県神戸市、北淡町を視察・研修	
一般質問(17人).....	P 3 ~ 8

# 第2回定例会

平成15年第2回定例会は、9月11日に招集され、26日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会では、個人情報保護条例など11議案が市長から提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、最終日には議員から提出された意見書と議員派遣についてを可決し、閉会しました。

なお、可決された意見書は、内閣総理大臣及び国家公安委員長に送付しました。

可決した議案

条例	補正予算	決算認定
個人情報保護条例 職員の給与に関する条例等の一部改正	一般会計(第1号) 国民健康保険事業特別会計(第1号) 老人保健事業特別会計(第1号)	平成14年度穂積町水道事業会計 平成14年度巢南町水道事業会計 平成15年度穂積町水道事業会計 平成15年度巢南町水道事業会計

その他
岐阜県市町村職員退職手当組合への加入 市道路線の認定及び廃止

意見書
犯罪防止のための治安対策の強化を求める意見書

その他の議決
議員派遣について



## 議員研修報告

10月14日、15日に議員研修を行いました。

兵庫県神戸市 / 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター  
兵庫県北淡町 / 野島断層震災記念公園

東海地震・東南海地震等が予想されるなか、阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、地震被害を軽減するため、視察研修をしました。被災者の体験談もお聞きし、改めて地震の恐ろしさを実感し、地震が発生する前の対策の重要性を認識しました。



滋賀県栗東市

栗東市は、平成3年にJR東海道本線の栗東駅が新設され、新幹線の栗東駅も計画中です。JR穂積駅の利用者が年々増加し、近い将来には穂積駅のあり方を研究することが予想されるため、JRとの協議内容や建設費用、費用負担などを調査研究しました。



### 市政 Q & A

# 一般質問

市政を問う

## 瑞穂市を良くする 市民参加の協議会設置

新井 正信議員

**Q** どうしたら瑞穂市が良い街に発展できるかを協議するため、「ふるさと開発協議会」を各小学校区に設置してはどうか。

協議会では、多くの市民や学識経験者の意見を聴き、良いアイデアや提案をいただき、市民、議員、行政が一体となって住みよい街づくりをしたい。これからの子ども達のためにも夢を実現

するよう努力したいが、市長の考えは。

**A** (市長)

皆さんから色々と建設的な意見や時代の変化に対する情報などいただき、積極的に発言する場を作るとは、良いことだ。運営のあり方については、試行錯誤になるが、担当ポジションとも検討してぜひやってみたいと思う。

## 国保の保険証を 1人1枚カード様式に

岡田 均議員

**Q** 健康保険法施行規則等の一部を改正する省令(平成13年厚生労働省令第12号)が公布され、平成13年4月1日から原則として、保険証は1人1枚のカード様式に改正されている。ただし、当分の間は現行様式も認められているため、今は世帯に1枚となっている。

**Q** 健康保険法施行規則等の一部を改正する省令(平成13年厚生労働省令第12号)が公布され、平成13年4月1日から原則として、保険証は1人1枚のカード様式に改正されている。ただし、当分の間は現行様式も認められているため、今は世帯に1枚となっている。

**A** (市民部長)

政府管掌健康保険は今年10月からカード化されるが、国保でカード化する自治体は岐阜県でまだない。カード化する問題点として、更新時の回収率が悪くなる。過誤請求が多くなる。手続きが煩雑になる。カードが小さいため紛失しやすく、高齢者にとって文字が小さく読みづらい。などがある。

しかし、今後はカード化に向かいつつあるので、県下の市町村の動向を踏まえながら、検討していきたい。

## 安全、安心して 暮らせる街づくり

吉村 武弘議員

**Q** 穂積小校区には、北方警察署直通の防犯ビデオシステムが設置されている。地域住民の安全対策として、鉄柱に赤色回転灯とブザーを取り付け、異変を知らせる装置を設置するなど、地域の理解が得られる市独自の安全、安心システムを全市的に考えられないか。

**A** (教育長職務代理者)

赤色回転灯とブザーは、不審者を威嚇する効果もあるが、いたずらも懸念される。今後、警察緊急通報装置の状況を良く見極めて検討したい。

## 街の美観

**Q** 市内のバス停に朽ちたベンチが多数あるが、危険でもあり美観を損なっている。すべてを撤去し、必要な場所にはもったいなく、早急に撤去するよう設置者を指導したい。

**A** (都市整備部長)

現在、ベンチは市内に38カ所設置されているが、民間業者が設置

したベンチの中には、破損等老朽化し、危険であり、美観を損なうものもあるので、早急に撤去するよう設置者を指導したい。必要なベンチは、道路管理者として設置したい。岐阜県産の間伐材を活用するなど美観にも配慮して考える。

## その他の質問

立看板、電柱のミラについて

## 構造改革特区について

馬淵 金雄議員

**Q** 政府は8月29日に、大垣市のほほえみデイサポート特区、瑞浪市の幼児教育保育特区など全国で47件を地域限定の規制緩和と改革特区として認定し、認定書を交付した。

当市において市民生活改善できる特区の構想は、将来展望を伺う。

**A** (市長)

私は「ふれあい特区」と言っているが、たとえば、貸し農園的な性格を持つ農地で、

## 教育長の選任について

**Q** 現在、教育長は不在となっているが、教育長を選任する議案は、いつ提出するか。

**A** (市長)

教育は、行政のなかでも最も基本的な事項である。人選は慎重に慎重を期したい。

交流の場を作れないかと考えている。

また、幼稚園と保育所の統一の問題や、給食センターの整備に関連して、独居・高齢者に対して配食サービスの食事を給食センターで作れないかなどを考えている。

これらは、農地法や補助金規則で規制があり、特区として申請しなければならぬ必要性が出てくるかもしれないので、さらに研究したい。

現段階においては、議会に提案できる段階には至っていない。しかし、できるだけ早く選任したいと考えている。

**その他の質問**  
一般会計の概算について  
各種補助金の概要について

## 行政の危機管理の重要性

進藤 末次議員

**Q** 数年前の穂積中学校ガラス破損事件の後処理で、穂積町長の即決の判断と行動は、見事の一言に尽きる。

今回の三重県、ごみ固形燃料発電所の爆発、名古屋港区の油槽所タンク火災や、東海市のガスタンク爆発等大きな火災事故が続発している。

これらの内容をみると、危機管理はどうなっていたのかと思わざるを得ない。

ごみ固形燃料は大切な資源。しかし、三重県のRDF発電所の内容は幼稚で、事故が起きてても責任を押し付けあっている姿を見ると、この人達は何か知らず、考えることもせず仕事をしていたのだと思つたのである。

どのような仕事でも事が起きたらどうする

## 十九条橋の交通危険による拡幅

土屋 勝義議員

**Q** 県道204号穂積乗南線の犀川に架かる十九条橋は、時代の変遷とともに交通量が増加し、その狭さから交通危険箇所となっている。

この橋は県道であり、橋の拡幅は県が行うものであるが、県の方針及び今後の見通しは、また、市当局の考えは、

**A** (市長)

合併した瑞穂市にとって、十九条橋は非常に重要な役割を果たす橋である。県も橋を改良する必要性は十分認識している。

県は、犀川の河川改修と県道改良の両面で橋の改良を考えているが、現状より橋の高さが高くなり、取り付け道路をどうするかという大きな課題がある。現在、この課題に対する影響をしっかりと把握

握してほしいと県に依頼してあるので、基本的な考え方ができたら、また協議したい。

**Q** 最近この橋の東数百メートルの位置に大規模商店が開店し、今後も金融機関や小売店が出店の予定である。

**A** (市長)

県道の敷地内にまだ個人の土地がある。この問題を整理しないと、県としては整備し難いのではないかと。市としては、県道整備の必要性を十分認識しているため、鋭意努力する。

## 放置自動車の対策は

桜木ゆう子議員

**Q** 放置自動車は、通行の妨げになり、街の美観を損ない、犯罪にまで発展しかねない。

不況などから増え続ける放置自動車の対策をどのように考えるか。

**A** (都市整備部長)

市では、放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例

**Q** 家族形態の変化により、お墓も生前に使用料を支払い、申し込む合葬式墓地が必要になってくる。公共の合葬式墓地は、使用料が安く、信頼性

## 学校図書の実用を

**Q** 学校週5日制の導入により、学校図書が貸し出しが増えているようだが、各校の図書の冊数が生徒

**A** (教育長職務代理者)

来年度から、学校図書購入の予算を生徒数に応じて配分を考える

## 天然記念物ハリヨの保護について

星川 睦枝議員

**Q** 平成15年3月19日に岐阜県希少野生生物保護条例が成立し、県下全域で捕獲を禁止する「指定希少野生生物」の候補を選定している。

その候補の1つに県の天然記念物で、巢南町の魚にも指定されたハリヨがある。

現在ハリヨは企業の協力で生息しているが、ハリヨ保護の輪をもっと大きくし、行政も地域住民も協力して粘り強く推進する必要がある。また、ハリヨの住める自然環境を維持することが私たちの使命であると考えている。

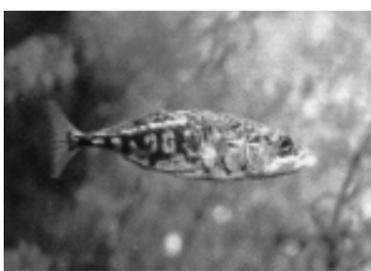
今後、市政として環境保全と愛護意識の高揚を図りたいがどうか。

**A** (市民部長)

今までは西ふれあい広場の一角に人工池を

造り、地域の人々の協力によりハリヨを放流し、保護に努めてきた。今後、自然の生態系を保全するピオトープ空間や水と親しめる親水空間など潤いと安らぎを感じる環境づくりに取り組みたい。

また、環境保全に関する教育や学習の振興を図り、環境保全に関する広報活動の一環としてハリヨの保全について理解を深めるとともに、PRをしていきたい。



## 本巣広域行政について

辻 文雄議員

**Q** 来年2月に本巣市が誕生し、北方町が岐阜市との合併を進める状況のなか、旧本巣郡の広域行政を運営するには、大変難しいと思う。市として、今後、執行部と議会で協議会を設置し、この問題を研究すべきだと思うが市長の考えは、

**A** (市長)

広域行政で運営した方が効率良く、サービスのレベルが上がる性格の事務は、積極的に参画すべきである。効果、効率を考えて広域が単独かを判断したい。

## 樽見鉄道について

**A** (市長)

**Q** 市内に美江寺、十九条、横屋と樽見鉄道の駅があるが、樽見鉄道は大幅な赤字となっている。

新聞報道にあるように、沿線自治体の考え方が違い、大変難しい問題であるので、やはり、協議会を設置し、研究すべきだと思つた市長の考えは、

鉄道だけにこだわって利便性を考えなくても、公共交通的な手段は他にもあるのではないかと。色々な選択肢の中で最も効率が良く、かつ、住民サービスにつながる方法は何かを模索する必要がある。来年には、コンサルタントから樽見鉄道の将来見通しについて調査結果が出てくるので、そのときには皆さんと協議をしたい。

### 合併協議事項の

### すり合わせ結果は

小川 勝範議員

**Q** 合併までの期間が短かったため、細部の協議が相当先送りされた。現在の状況は。

**A** (調整監)

合併に伴う協議事項は、全体で1200項目ほどあるが、現在、その調整状況を調査中である。大半は調整済みで、未調整のものは約7%ほどであろう。

### 公共施設の駐車場は

**A** (総務部長)

**Q** 図書館、保育所、幼稚園、保育教育センター、小中学校その他公共施設の駐車場は確保しているか。不足している場合は、新たに設置の計画はあるか。

平時時は確保しているものの、大きな行事には路上駐車が目立ち、近所に迷惑をかけている現状もある。施設の用途に応じて、実態を調査し、対応したい。

### 上水道幹線路設置について

**A** (水道部長)

**Q** 市内には上水道の水源が、宮田、本田、馬場、別府、牛牧、呂久に計6箇所あるが、呂久を除く5箇所の水源を連携させ、市内全域をカバーする水道管を設置する計画はあるか。

市内全域に安定して給水できるように旧穂積町と旧粟南町の幹線管路の接続可能位置を早急に決定したい。また、新市水道事業基本計画を本年度中に策定できるように事務を進めていく。

### 「ふるさと福祉村」の

### 取り組みについて

山本 訓男議員

**Q** 各地で「ふるさと福祉村」の取り組みが始まっている。

福祉村は、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な、生活全般にわたるサービスをお互いに提供しあう相互支援のコミュニティである。

市においても新しい地域コミュニティのひとつとして取り組んでいくか。

**A** (市長)

### 街路灯に太陽光発電を

**A** (都市整備部長)

**Q** 太陽電池を用いた照明灯は、震災等の停電時も電源が確保でき、安全に避難行動ができる。また、環境にもやさしく、街の美観も向上する。設置の考えはあるか。

牛牧南部コミュニティセンターに太陽光発電の街路灯、別府のせせらぎ広場に太陽光と風力を共用した街路灯を各1基設置した。設置は、通常灯と比較して多額の費用を要するため、防災面も考慮して検討する。

### 樽見鉄道の存続について

小寺 徹議員

**Q** 公共福祉の観点から、樽見鉄道を守るべきだと思つがどうか。

**A** (市長)

鉄道としてはなく、公共の足として考えるべきで、費用対効果と利用する人の利便性の

### ごみ問題について

**Q** ごみ処分の基本方針は、資源化か。

**A** (市民部長)

循環型社会の基本は、ごみの減量とリサイクルである。

**Q** 未来の森で働く人の労働環境向上を。

**A** (市民部長)

### 公民館、グラウンド等の利用料の減免を

**A** (教育長職務代理者)

各種条例、規則に減免規定が設けてあり、規定に該当するスポー

両面から考えるべきである。

**Q** 再建のための経費削減が必要だと思つがどうか。

**A** (市長)

樽見鉄道の将来を考える場合に必要で費用も拠出する必要がある。市全体のストックカード構想の中から検討したい。

**Q** 旧穂積町内での分別収集されたごみが、混ざって搬入されているが、なぜか。

**A** (市民部長)

旧穂積町内の地区ステーションでは、プラスチックとペットボトルの分別を市民に要請していない。

少年団、子ども会、老人クラブなどは、利用料をいただかない。規定に該当しない一般市民の皆さんには自分の負担をお願いしたい。

### どう取り組むかまちづくり

日高 清議員

**Q** 昨年6月の旧粟南町議会において、南部まちづくりについて質問をした。その答弁で、「地区計画制度を定め、秩序ある土地利用と環境整備を行うのが有効な方法」とあるが、市となった今もこの考え方に変更はないか。

**A** (助役)

今もその考え方は変わっていない。

同じく、「区域内の道水路整備計画立案も早急に進める必要がある」と答弁されたが、どの程度進んだか。

**A** (助役)

市として一体性を持った計画が必要である。幹線道路、生活道路とも含めて、見直し計画案を策定したい。

### 地震対策は

**A** (総務部長)

**Q** 南海、東南海地震がいつ起きても不思議ではないと報道されている。道路に面した高いブロック塀が心配だ。登下校の子ども達も安全か。市内全域の十分な調査と指導、その対策は。

発生する災害の規模によって災害危険箇所が異なるが、市内の危険が想定される箇所を一度点検し、改善を図る方針を検討し、危険を排除したい。

### 常備消防の新体制

廣瀬 捨男議員

**Q** 旧穂積町は岐阜市に委託し、旧粟南町は本巣消防事務組合で対応しているが、今後はどのように進める考えか。

**A** (市長)

敬老会の開催について。合併協議会では、現行の予算内で、小中学校区で開催するよう調整するとされていた。

**Q** 9月10日に開催された敬老会の出席率は低下しているが、今後の

コミュニケーションバスの運行について

**Q** 旧粟南町への乗り入れ路線数及び運行開始時期は。

**A** (市長公室長)

岐阜乗合バスの路線と重複しないよう1路線を計画し、来年5月

### 高齢者の医療費払い戻しは

西岡 妙子議員

**Q** 昨年10月から70歳以上の医療費は、自己負担の限度額を超えた分を後から払い戻す仕組みになった。申請もれないよう、どんな工夫をしているか。また、課題はないか。

**A** (市民部長)

利用者からは、「総合センター調理室の床は、水でぬれると滑りやすい」と指摘されていた。しかし、7月に調理室での事故が続いたが、未然に防げなかつたか。また、事故後の対応は。

**A** (教育長職務代理者)

利用者の声が届くシステムを

**Q** 利用者から「総合センター調理室の床は、水でぬれると滑りやすい」と指摘されていた。しかし、7月に調理室での事故が続いたが、未然に防げなかつたか。また、事故後の対応は。

**A** (市長)

すぐやる課の設置を

1件は10日ほど経過してから事故が判明したもので、もう1件は事故後直ちに救急車で病院に搬送した。調理室にカーペットマットを敷き、水でぬれても滑らないよう改善した。施設利用者のアンケートも今後の課題として、利用者の声が滞ることのないよう十分注意して対応する。

設けるだけの業務量はないので、市長公室が中心となって対応する。

単独でひとつの課を

## 松野友元穂積町長の 胸像問題について

西岡 一成議員

**Q** 松野友元穂積町長の胸像の寄付があり、受け取ったとのことだが、元町長は、開発公社事件で引責辞任した人物で、その胸像を庁舎内に設置するのは、到底市民の合意を得られない。

市長は、直ちに胸像を返上すべきである。

**A** (市長)

返上すべきというのも一つの意見であるが、まだ他にも色々な意見があると思う。皆さんのご意見をお伺いして、この胸像の取り扱いを決めたい。

公選法違反の疑いについて

**Q** 市長が穂積町長在職中の4月25日ごろ、岐阜市の料理屋で、吉本議員、澤井議員、武藤議員が立ち会いのうえ、X氏に対して、市長選挙の立候補を辞退する見返りとして、「松野市長就任時には、X氏を助役にする」との約束を交わし、一本化工作が行われた

**A** (市長)

日にちについては明確でないが、このメンバーで会ったことは、事実である。しかし、話の内容で、助役どうのこうのという議論は一切していないので、この点だけははっきりと明確に申し上げておく。

## JR穂積駅の将来像は

棚瀬 悦宏議員

**Q** 穂積駅の乗降客は、1日1万8千人、2万人とされているが、9月12日に犀川大橋が開通したことなどにより、安八方面からの利用がさらに増えることが予想される。新聞報道では、穂積駅の混雑に拍車とされ、新駅構想まで浮上している。

穂積駅は将来移転するのか。また、駅南公民館跡地等の周辺整備をどうするか。

**A** (市長)

穂積駅の移転はしない。しかし、増え続ける利用客を受け入れる能力アップが望めないなら、市内にもう一つ駅をつくるという議論も必要であろう。

駅南公民館は、近いうちに取り壊し、送迎バスなどの転回場や待避場とし、駅機能の向上ができないかと考えている。

研究する必要がある。

**A** (市長)

市でも住民税や固定資産税の税収が非常に大きく落ち込んでいる。

デフレによる影響は

**Q** 空き店舗の利用方法は、

**A** (市長)

物の販売だけでなく、文化や福祉など他の利用法も工夫できないか

**A** (市長)

供用を開始してから間もないので普及率が低いのは当然で、1、2年でどれだけ進展するかがポイントだ。

「市議会だより」に対するご意見、ご要望がありましたらどしどしお寄せください。これからの編集に反映させていきたいと思えます。

連絡先 岐阜県瑞穂市別府1288番地  
瑞穂市役所 議会事務局内  
議会だより編集委員会  
TEL : 058 - 327 - 4121  
FAX : 058 - 326 - 1336  
e-mail : gikai@mizuho-city.jp

